

新東名高速道路川西工事現場見学会メモ

2024/06/01

新東名高速道路川西工事(清水建設施工)の現場見学会を 5/31 (金) 午後に実施した。ICTフル活用の現場で、昨年には土木学会の技術賞を受賞しており、大変参考となった。これまで各種学会誌等で ICT に関する報告を読む機会があったが、中々頭に入ることはなかった。しかし、今回のように実際に目で見て説明を聞くと、すこしは理解できるようになったと感じた。

現場は土量の調整の関係で向原工区と塩沢工区に分かれ、向原工区では切土工 83 万 m³、塩沢工区では盛土工 320 万 m³ とダム堤体積の 3 倍近い量であった。それからトンネル工が上りと下りの 2 本、延長 1160m と 1120m であり、すでに完成していた。以前トンネルの入り口で「ウルトラマンの撮影」が行われたとのことでした。

ICTフル活用により、3次元による測量、設計、施工、検査、納品に至る一連の建設生産システムにおいて、3次元データを一通貫で活用することで、建設現場の生産性向上を図る取り組みを**受発注者が強調して進めている**ことのことでした。

詳しくは以下の参考資料を参照してください。また、現場の蔵重所長からは、①ICTが適用できたのは現場と本社が協力し、かつ協力業者との綿密なやり取りを実施したこと、②新規に ICT 担当者をつける必要があったが、全体としては 30% 近くの省力化を図れた、③検査ではこれまで点のチェックであったが、面としてチェックして提出している、④これによって現場の不都合なところも明らかになってしまうので、これからは検査基準の見直しが必要である、⑤工事規模が約 20 億円以上であれば、ICT の適用が可能であるなどの説明があった。

参考資料：

- ① 川西工事ですが、日大生産工学部の生産工学特別講義において清水建設の吉武先生からインターンシップオンライン見学会の動画を御紹介して頂きました。見学会の参考に動画を下記 URL で送付しておきます。(峰松)

<https://dtbn.jp/i8GXYEne>

動画は 2 時間程度と長く 1.7GB と重いため、DL に 10 分程度かかりますが、参考にしてください。

- ② 清水建設が発表している当現場の案内を以下に紹介します。ご覧いただければ幸いです。(小林)

[先進的な ICT フル活用施工を進める新東名高速道路川西工事／特集－テクノアイ \(shimztechnonews.com\)](http://shimztechnonews.com)

この案内には、当現場の特徴で有る ICT 施工、i-Construction、現場 DX についても紹介されています。なかには約 6 分の動画もあり、分かりやすいです。



服部さんの感想

昨日は見学会ありがとうございました。i-constractin の実施状況を実際に目にすることができ実感が湧きました、自分の現役時代との変わりようにただただ感嘆するばかりです。明日の建設業が明るくなることを実感するとともに、元気になることをお祈り致します。

以上